

## 住宅と雨樋

## Vol. 21

P

## 第 21 号のポイント

1. ガルバリウム鋼板製の雨樋で大人がぶら下がれるほど丈夫。
2. 枯葉などすべてを縦樋に流し下方にある枯葉取りに集める。
3. 縦樋には分岐管があり、雨水を樽などへ貯水できる。

?

## 筆者プロフィール

金井田晃央(かないだあきお)  
 1975年 群馬県生まれ  
 日本大学大学院(建築・構造)を卒業後、スウェーデンへ渡る。  
 スウェーデンで住宅・建材の輸出マネージャーを10年間務める。  
 河本工業の次世代型住宅である“Komoto Hus”(河本ヒュース)の開発メンバーに携わる一人。  
 スウェーデン住宅・建材・家具等の輸入手配を主に担当している。  
 筆者ホームページ:  
<http://mala-gruppen.com>



ガルバリウム鋼板製の丈夫な雨樋。径が大きく枯葉も流してしまう。

Hejsan! 今回はスウェーデンの雨樋についてお話します。雨樋も瓦形状をしたルーフィングと同じガルバリウム鋼板製です。耐久性に富んだ素材で、大人がぶら下がれるくらい丈夫な樋です。日本の雨樋と比べると、雨樋にここまでするのか?とありますが、住宅本体の耐用年数を100年以上に想定しているため、住宅を構成する個々の耐用年数も何十年と使える「つくり」となっているのです。

径が大きいのが特徴で、横樋の直径が約12cm、縦樋は約9cmもあります。屋根に落ちた木の枯葉も横樋に溜まりにくく、すべてを縦樋に流してしまう考えです。横樋に枯葉が溜まると、雨水も溜まり、雨樋や屋根構造を傷める原因となってしまいます。縦樋に流れた枯葉は、下方にあるブーツ状で網目となっている「枯葉取り」に溜まるので、定期的にここで枯葉を除去してあげます。

縦樋にはもう一つ工夫があって、雨水を収集できる分岐管があります。雨水を貯める樽などを置いて、分岐管のカバーを下げれば、雨水は樽の方へと流れていきます。雨水を貯水しておけば、ガーデニングなどの水やりにも利用できるわけです。ありそうでなかった便利機能ですね!

雨樋はガルバリウム鋼板製のため、デザインに合わせて色を選ぶこともできます。雨樋というと、住宅を構成する建材の中でも脇役で、あまり目立たないようにしがちですが、建築家によっては、あえて雨樋を赤色にして、デザイン表現の一つとしている住宅もあります。これが北欧デザインの感性なのでしょう。次回からは、超断熱住宅プロジェクトについてご紹介していきます。お楽しみに!

文責 金井田晃央 (筆者へのお問い合わせ先: [info@mala-gruppen.com](mailto:info@mala-gruppen.com))

**Innovatio** : イノベーションとは、これまでのもの、仕組みなどに対して、  
 全く新しい考え方や技術を取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起すこと。